

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)		器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。 (火災・感電の原因)		ランプを落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因)
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)		スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。また、ランプにからませない。 (破損して落下の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

点検	
■ 6ヶ月に1回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条・消防庁告示第3号と第14号]	■ 24(48)時間以上充電後、非常点灯持続時間が20(30)分以下となったら蓄電池を交換する。()内の数値は非常灯の場合 ■ 消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

ランプ交換・器具の清掃 — ⚠ 警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因) —	
ランプ交換 適合ランプ FL20S (SS/18) 適合グロースタータ FG-1E ランプは点滅回数が多いと短寿命になります 指定された適合ランプを使用してください。 (1) ランプをソケットからはずす。 (2) ランプピンをソケットに差し込み、ランプを確実に装着する。	⚠ 注意 ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない (高温のためやけどの原因) ○ランプをソケットに確実に取付ける (取付けが不完全な場合落下の原因) ○使用済みのランプを不用意に割らない (ガラスが飛散してけがの原因) ○ソケットの清掃に洗剤を使用しない (洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因) ⚠ 警告 器具・ランプを水洗いしない (火災・感電の原因)
清掃 ○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふぎとってください。	

蓄電池の交換 — ⚠ 警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因) —	
適合蓄電池 4N23AA 蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。	⚠ 警告 蓄電池はショート・分解・加熱・変形させないまた、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)  この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持ちください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

保証について	
■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。ランプ、グロースタータ、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。	

異常時の処置 — ⚠ 警告 —	
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。	

製品・お取り扱いなどのご相談は	
お客様相談室	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話  0570-055123 受付時間：9:00～17:30 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。 FAX 072-986-5036

修理・アフターサービスのお問い合わせは	
サービスセンター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話  0570-015123 FAX  0570-025123 受付時間：9:00～17:30 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●ナビダイヤルにかからない場合は、お客様相談室 ☎072-986-5081 にお電話願います。
●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2011年07月現在)

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具

E762Z418H22

蛍光灯直付器具

保管用

型番 **FRG2109AZ** [蓄電池内蔵形]

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

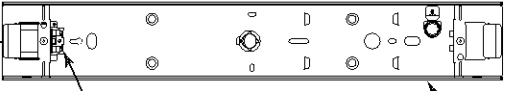
安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠ 警告、⚠ 注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わない ください。	 必ず指示に従い 行ってください。
--	---

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
	引火する危険のある雰囲気では使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)		配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
	高温 (35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。 (落下・感電・火災の原因)		雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)
	天井直付形専用器具です。レースウェイへの取付や吊り具による吊下げ取付は出来ません。背面からほこりや虫が入り不具合の原因となります。 (不具合の原因)		器具を密集して取付けない。(10cm 以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。 (劣化による落下の原因)		表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)		器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。 (火災・感電の原因)		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
安定器内蔵側の端部ノックアウトは電源線や送り配線に使用しない。 (安定器をまたいで配線すると、電線が過熱し、感電や火災の原因となります。)		 このノックアウトは使用不可 安定器 本体	

お願い

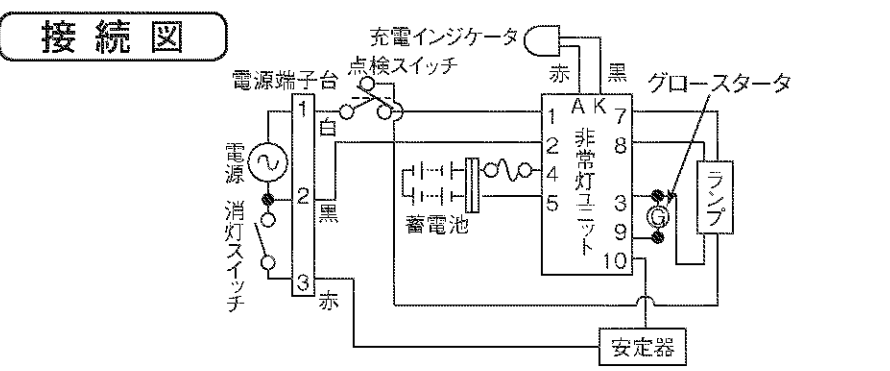
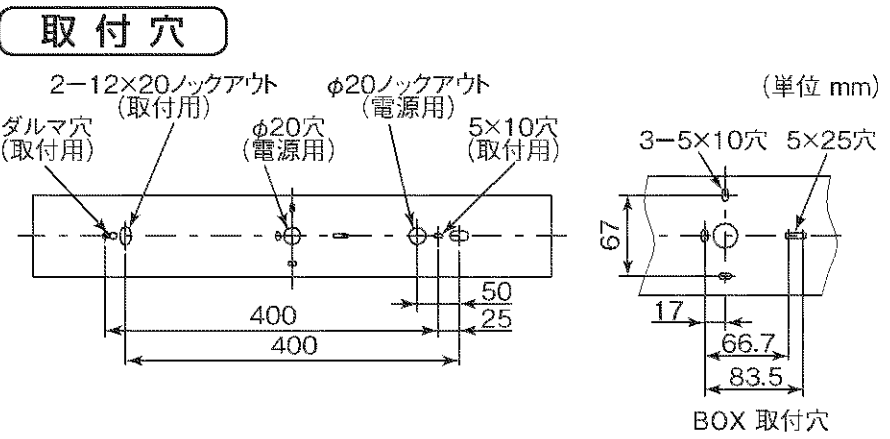
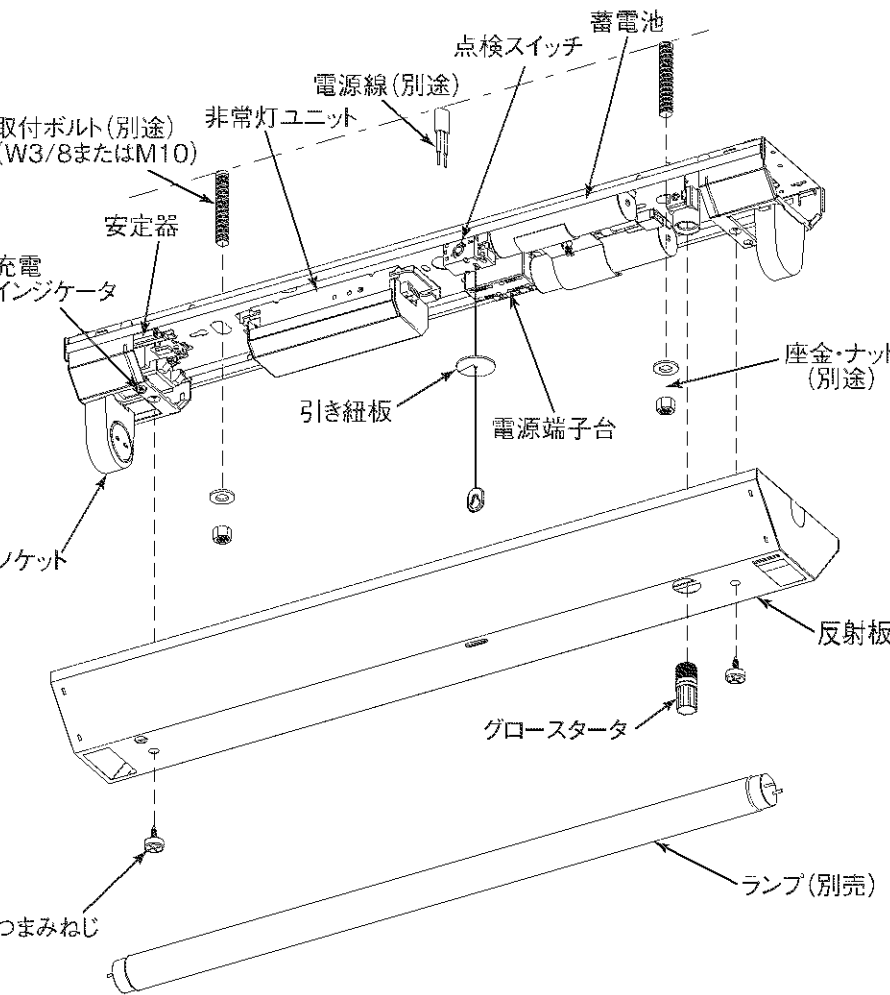
- 周囲温度は 5 ～ 35℃の範囲でご使用ください。
- 直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)
- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。(すき間が発生することがあります。)

照明器具の寿命について

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度 30℃、1日 10時間点灯、年間 3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

各部のなまえと取付けかた

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



定格	平常時	非常時
使用ランプ	FL20S (SS/18) × 1	
定格電圧	100V	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.8V
入力電流	0.37A (0.35A)	2,300mAh
入力電力	25W (24W)	

1 取付前の確認

- 器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。
- 取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
- 木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用する。

⚠ 警告 器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

2 ソケットの取付け

本体に内蔵のソケットをソケット台にくぐらせて取付ける。

3 器具本体を取付ける

- 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- 電源線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

⚠ 警告 取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線を電源端子台に接続する

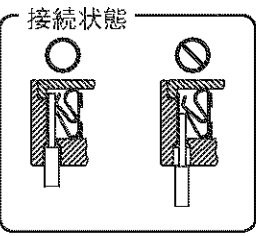
電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

- 電源端子台の容量は 20A です。
- 適合電線：φ 1.6mm 単線 φ 2.0mm 単線
- 電源線は専用回路にする。

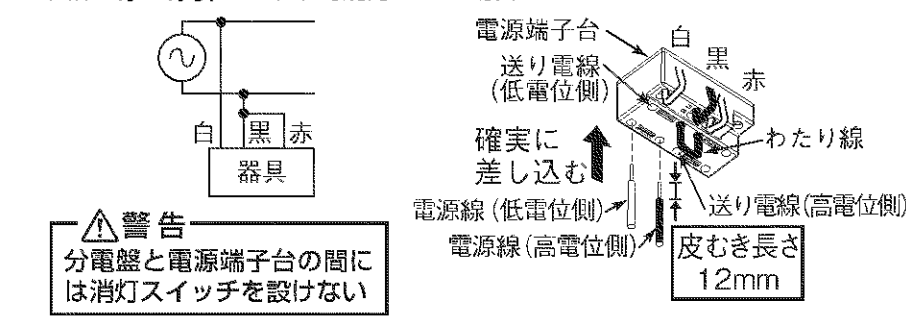
⚠ 警告 接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠ 警告 送り配線は誘導灯及び非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

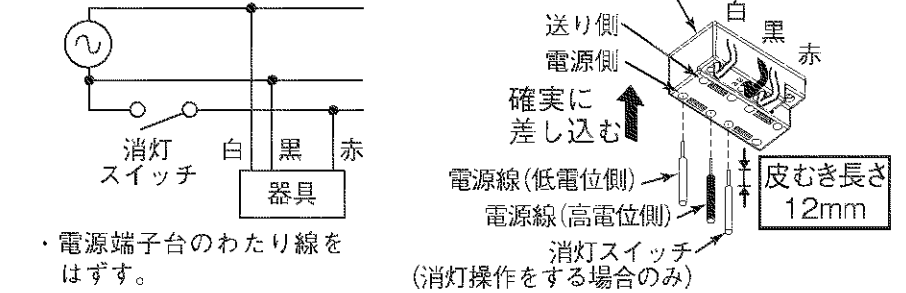
⚠ 警告 電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1 本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



＜単相2線2線引き・平常時消灯しない場合＞



＜単相2線3線引き・平常時消灯する場合＞



- ・電源端子台のわたり線をはずす。(消灯操作をする場合のみ)
- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。
- 誘導灯として使用する場合は平常時消灯する場合は所轄の消防署の了承を得る必要があります。
- 誘導灯消灯システム使用の場合は、信号装置取扱説明書を参照してください。

5 反射板を取付ける

※反射板取付前に引き紐板が取付いていることを確認する。

つまみねじで反射板を確実に取付ける。

⚠ 注意 取付けが不完全な場合落下の原因

6 ランプを確実に取付ける

ランプピンをソケットに差し込み、ランプを確実に装着する。

グロースタータをスタータソケットに確実に装着する。

⚠ 注意 取付けが不完全な場合落下の原因

7 点灯を確認する

次の点灯状態を確認して万一点灯しない場合、下記項目をチェックしてください。

- (1) 通常点灯しない場合
 - ・ランプやグロースタータはソケットに固定されていますか。
 - ・誤配線をしていませんか。
 - ・電源電圧は定格どおりですか。
- (2) 非常点灯しない場合
 - ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
 - ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
 - ・蓄電池は 24 (48) 時間以上充電してありますか。() 内の数値は非常灯の場合
- (3) 充電インジケータ (緑色の表示ランプ) が点灯しない場合
 - ・電源は通電されていますか。
 - ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
 - ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。